



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館
 試合区分：少年女子 準決勝
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：10:00

GAME No. 1004G1

主審：谷地 温
 副審：坂上 佳弘

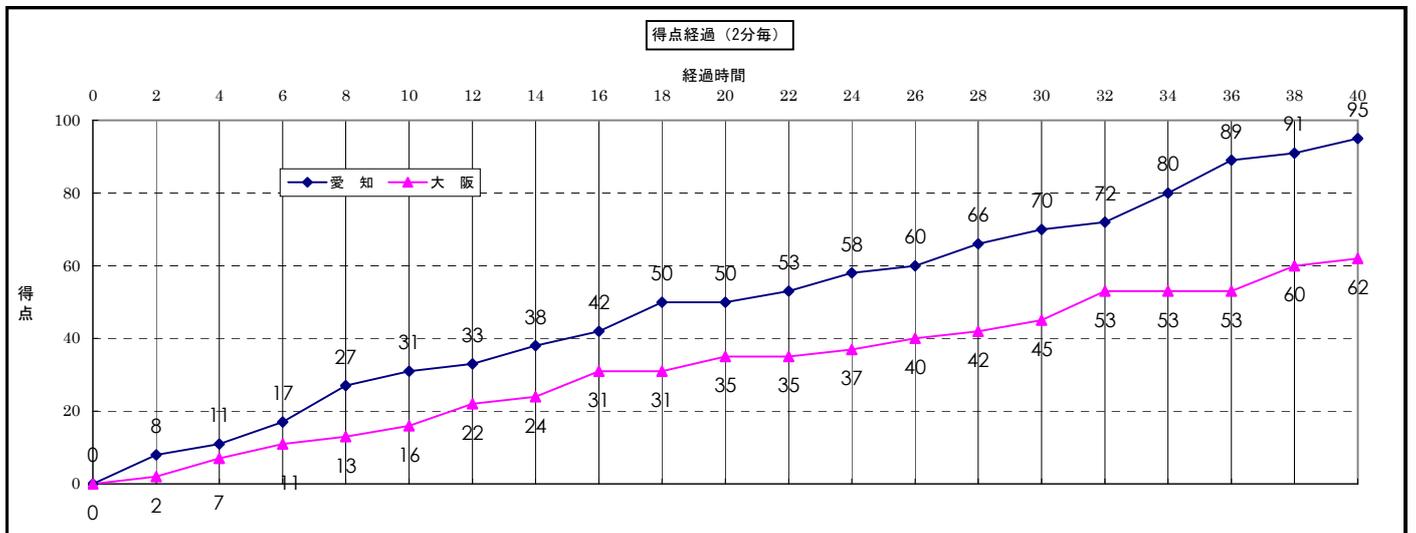
Team A	○	31 -1st- 16 19 -2nd- 19 20 -3rd- 10 25 -4th- 17	●	Team B
愛知	95		62	大阪

TEAM A		愛知					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	本多 真実	9	1	3	0	0
5	*	水島 沙紀	8	2	0	2	1
6	*	大西ムーア・ダイアンまどか	10	0	5	0	3
7		村瀬 瞳子	6	0	2	2	1
8		菅原 絵梨奈	2	0	1	0	0
9		木原 芳	4	0	2	0	0
10		外山 優子	0	0	0	0	2
11	*	岡本 彩也花	19	1	6	4	1
12		石黒 加奈	3	0	1	1	1
13		ヒル 理奈	0	0	0	0	0
14		白 慶花	2	0	1	0	0
15	*	渡嘉敷 来夢	32	0	14	4	1
Coach		井上 真一					0
TOTAL			95	4	35	13	10

TEAM B		大阪					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森 仁美	10	0	5	0	4
5		前川 千尋	0	0	0	0	1
6	*	上畑 香奈	17	1	7	0	2
7		金澤 春香	3	0	1	1	1
8	*	早川 結花	0	0	0	0	1
9		朝田 桃子	0	0	0	0	0
10		谷口 菜生	0	0	0	0	0
11		蛭尾 はるか	0	0	0	0	0
12	*	藤木 沙也香	6	2	0	0	2
13		吉川 裕子	0	0	0	0	0
14	*	大濱 杏華	12	1	4	1	4
15		坂井 郁香	14	3	2	1	0
Coach		浅貝 修二					0
TOTAL			62	7	19	3	15

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	16:04	-	34:20	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

両チーム、マンツーマンディフェンスでのスタート。

1Q、愛知は#15渡嘉敷のリング下シュートで先制。対する大阪は#4森のジャンプシュートで対抗する。愛知の#5水島が連続で3Pシュートを決めゲームを有利に進める。大阪はインサイドで攻めることができず、#6上畑のアウトサイドシュートを中心に得点する。愛知は#11岡本のドライブイン、#15渡嘉敷を基点した合わせのプレーでリードを広げ、31-16で1Q終了。

2Q、逆転を狙う大阪はディフェンスの当たりを厳しくする。中盤、大阪は#15坂井の速攻や3Pシュートで9点差まで縮めるが、その後は得点が伸びない。一方、愛知はパスを回しながら、#15渡嘉敷のゴール下の1対1で確実に得点を重ねていく。大阪は#7金澤のリバウンドシュート、#14大濱のドライブで食い下がり、50-35で前半を終了。

3Q、流れを変えたい大阪はオールコートマンツーマンにディフェンスを変えるが、愛知の高さの前に得点できない。愛知は、#15渡嘉敷、#4本多を中心に得点を重ねる。大阪は#15坂井のアウトサイドシュート、速攻から得点で対抗するが、愛知は#15渡嘉敷のリング下シュートで加点していく。70-45と愛知がリードを広げて3Qを終える。

4Q、開始2分、大阪は速攻から#12藤木が連続3Pを決めて、追い上げを図るも、その後得点が止まる。愛知は、ベンチメンバーに交代しながらも#7村瀬のインサイド、#9木原の速攻で着実に得点を重ねる。対する大阪は#6上畑のスティール、#14大濱のジャンプシュートで粘りをみせるものの点差を縮めることができない。終始リードした愛知が95-62で決勝進出を決めた。

記載責任者 青木 茂雄 (所属) 新潟県バスケットボール協会